

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2020年度支部活動報告(2021年5月23日総会用)

支部名		実施した通信訓練の概要				その他活動・報告事項など
		地域防災拠点数(A)	(A)のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数(区役所局含む)	
1	鶴見	31	14	15	160	<p>2020年度鶴見区支部活動報告</p> <p>○4月～3月(毎月第二土曜日21:00～) JR1WU鶴見レピータ439.560MHzを使用しローカル局、他近隣地域局と通信訓練を兼ねたロールコールを実施。</p> <p>○7月、8月無線通信スキル向上と屋外での運用方法掌握を目的としてJARL国内コンテスト移動運用を実施。コロナ禍においての移動運用ということもあり3密を避け感染防止対策を十分に講じて実施する。</p> <p>○11/1(日)AM9:00～11:59第三回鶴見川コンテストを企画開催。コンテスト目的の一つとして、非常時における430MHz帯各モードの運用方法と実伝搬距離の測定、モード別の伝搬傾向の調査も行った。2020年も430MHz帯に特化したコンテストとして多数の局に参加いただきコンテストとしての認知度もさらに高まる。</p>
2	神奈川	25	2	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・中丸小学校(片倉町近郊)防災訓練に2名が参加し、その場で無線機の動作確認を実施した。 ・神大寺小学校(片倉町近郊)防災訓練に2名が参加し、その場で無線機の動作確認を実施した。 ・神奈川区役所の無線設備の動作確認を1名で行い、問題がないことを確認した。 ・各拠点における無線機用バッテリー交換作業を実施するため、区役所では今後、計画的に対応している。(拠点に予算割り振り、支払い済み) ・非通協への依頼が少ない理由は、拠点防災訓練は、各自治会単位で対応しているためとのこと。
3	西	12	0	0	0	2020年はコロナの影響で活動をしていません。
4	中	15	1	22	149	<p>①R02.4月からR03.3月までの第一日曜日の20:30から145.20MHzにて月例通信訓練を実施し、12回延べ106名が参加。また、関東近県で地震発生時には必要に応じ安否確認の通信訓練を実施し、9回37名が参加。</p> <p>②R02.09.04 中区役所の要請に基づきマリネエフエム(コミュニティFM局)の緊急時直接割り込み放送の初回訓練に参加。これに合わせてJR1YWG中区役所局を運用し、支部員6局が臨時の通信訓練を実施した。</p> <p>③R02.06.28 中区支部総会を、新型コロナ対応のため集合せず紙上開催(145.20MHz QSO総会)として開催、12局が参加した。</p>
5	南	25	0	0	0	<p>当南区支部においても、コロナの影響により地域防災拠点と南区役所間の情報受伝達訓練等、例年の様な活動が出来ない状態です。</p> <p>しかしながら毎月第1日曜日の20:00から実施しています438.32MHz FM(E3E)でのロールコールにおいては、毎月10局前後の参加を得ており、各種情報のやり取りに花が咲いております。</p>
6	港南	31	3	3	15	<p>【区役所との協働活動】</p> <p>① 地域防災訓練(9/6から11/8) 新型コロナ感染症対策対応上訓練は3拠点で小規模で行われた その他の拠点では運営委員会の訓練が開かれた。</p> <p>② 一訓練日が区役所の電気設備点検と重なり、支部理事宅を移動区役所局として訓練を実施した。(区役所<->移動本部間の意思疎通が課題)</p> <p>③ 福祉避難所に対してデジ簡講習会を実施した。</p> <p>④ 区役所が定めるデジ簡チャンネルプラン策定に協力した。</p> <p>【支部事業】</p> <p>① 支部総会を新型コロナ感染症対策対応上書面による総会とした。</p> <p>【支部員数】 131名、 【入退会】 入会 2名 退会 2名</p>
7	保土ヶ谷	27	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により年間事業計画は全て中止となった。 ・支部は再結成されたが支部会議が開催できず会則並びに役員等保留の状態である。 ・20./05無線機の変更による無線局免許状交付(新規会員登録) ・20/06ロールコール7名参加 ・21-01ロールコール6局参加・21-02ロールコール4局参加 ・21-03ロールコール7局参加

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2020年度支部活動報告(2021年5月23日総会用)

支部名	実施した通信訓練の概要				その他活動・報告事項など	
	地域防災拠点数(A)	(A)のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数(区役所局含む)		
8	旭	37	13	13	55	<p>①地域防災拠点、連合自治会の防災訓練と連携し、情報受伝達訓練及び無線設備点検を実施 ※コロナ禍のため、訓練は最小限となった</p> <p>②2020年度内に期限となる無線局免許を更新実施</p> <p>③438.08MHz・F3Eで毎第二土曜日21:30～ロールコールを実施</p> <p>④入会者1名 退会者8名 支部会員125名</p>
9	磯子	21	1	10	116	<p>・「地域防災拠点」訓練のほか「連合地域の防災訓練」「出勤体勢訓練」「訓練時の自宅周辺被害報告訓練」診療所・薬局の「幟旗掲出確認報告訓練」等を行っている。しかし、新型コロナウイルス問題でほとんどの拠点訓練が中止となったため、参加の数字は例年より大きく減少した。</p> <p>その他「各種イベント」等への参加を合わせて、29回、述べ416人が参加した。</p> <p>・地域防災拠点訓練は、1か所のみで7人の参加、加えて「横浜市総合防災訓練」が磯子区で行われ、1人が参加した。</p> <p>・上記の内「出勤体勢訓練」は横浜市のどこかで震度3以上の地震があれば、昼夜を問わず地震発生から30分間を訓練として、被害状況報告を無線で収集し、区役所、消防署、警察署へ報告する訓練であるが、今期は対象地震の発生が8回あり、延べ90人が参加した。</p> <p>・「幟旗掲出確認報告訓練」は昨年度に続き2度目であり参加者は19人だったが、区役所の福祉保健課からは高い評価を得ている。</p> <p>・参加イベントとして「FDコンテスト」参加者制限の「防災パネル展」および「防災ギャザリング」のビデオ参加のみで、恒例の「磯子祭り」「防災スマイリングフェア」は、新型コロナウイルスで中止となり、参加者は24人のみだった。</p> <p>・毎月第1土曜日20～21時に、ロールコールを実施し、情報の共有と親交を深めている。令和2年度は12回で延べ224人が参加した。</p> <p>・アマチュア無線による情報伝達だけでなく、特に避難所拠点へ来る前の発災直後の地域の連絡手段として特定小電力トランシーバの普及活動に力を入れて推進している。</p> <p>・趣味のアマチュア無線クラブ「JARL横浜磯子クラブ」と共催で楽しいミーティングも制限して行い、延べ51人が参加し、無線技術や防災の勉強をしながら親交を深め会員募集などを推進している。</p> <p>・会員の増減は、令和3年度末時点で、逝去退会もあり減少し101人となっている。</p>
10	金沢	26	6	5	9	<p>1)地震発生時の状況報告(市内で震度3以上の地震が観測された場合、無線を通じて状況を報告しあう。支部の自主活動) 5回実施、結果を区役所へメールで報告。</p> <p>2)地域防災拠点運営委員会・防災訓練に参加(感染症拡大防止のため大幅縮小)</p> <p>①地域防災拠点運営委員会参加実績 参加7拠点・参加回数12回・延べ参加会員数15人</p> <p>②地域防災拠点防災訓練参加実績 参加6拠点・参加回数5回・延べ参加会員数9人</p> <p>3)定例オンエアミーティング・災害想定訓練</p> <p>①定例オンエアミーティング 毎月第一土曜 21:00～実施。</p> <p>②災害想定訓練 6月・9月・12月・3月の定例オンエアミーティング開始前に実施。</p>
11	港北	28	22	22	106	<p>・2020年度総会は感染症拡大防止の為中止、報告と計画の承認は往復はがきとメールにより実施</p> <p>・4～3月：ロールコール 2回/月(430MHz, 144MHz F3E) 計24回実施 通算248回</p> <p>・5月：協定における災害時に備えた細目を定めた協定細目が期限を迎えたため更新、区より協力員証再取得</p> <p>・5月：新スプリアス規制対応のため区本局無線機を更新 IC-910→FT-991AS、局免許状更新</p> <p>・9～12月：情報受伝達訓練を、中止6拠点除く22拠点すべての防災訓練において実施、防災訓練自体は関係者のみ参加の拠点が多数</p> <p>・3月：災害時の医師会連携－災害時の情報伝達に医療救護活動に必要な情報も含むことを区、医師会、港北区支部の三者にて確認</p>

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2020年度支部活動報告（2021年5月23日総会用）

支部名	実施した通信訓練の概要				その他活動・報告事項など	
	地域防災拠点数(A)	(A)のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数(区役所局含む)		
12	緑	21	17	17	50	<p>【総会関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月15日～5月28日 支部総会（書類による開催） <p>【行政との調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月17日～9月4日 地域防災拠点（小規模）訓練時の通信訓練日程・要員調整（メール） ・3月29日 令和2年度活動および会員状況を報告（メール） <p>【訓練活動等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例ロールコールを実施（月2回 計24回） ・地域防災拠点訓練 9月5日、9月6日、11月1日、11月7日、11月21日 17拠点で実施 <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月29日 緑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（書類による開催）へ当会紹介資料提出 <p>緑区区民まつり、四季の森公園スマイリングフェア、その他余暇活動は新型コロナの影響により中止となりました</p>
13	青葉	41	8	11	128	<p>2020年3月31日現在の会員数：67名（昨年62名で+5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点訓練はコロナ禍でもあったが、8拠点11回の訓練を実施。参加局のべ128局（昨年度395局） ・地震発生時に青葉区基幹周波数で安否確認・周辺情報収集訓練を実施。20回の対応実施で延べ参加数202局。 ・OAM（毎週土曜日夜21～21:30）52回実施、延べ846局参加、平均参加局数16.3局 年間1度以上参加した局の比率61% 39局。 ・横浜青葉メディカル無線クラブ（JQ1YVN:四師会:医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会）との連携、合同OAM実施。 ・支部定例会を8回実施。今年度は全てZoom開催。支部の問題や区・医師会との連携訓練、空白拠点の支部員増強などを議論した。 ・青葉区地域防災拠点委員長会議（6月、書面決議）に協力会活動方向資料添付PPT13枚。 ・青葉区災害時医療拠点通信訓練（全12拠点中6拠点、区役所福祉保健課、昭和大藤が丘病院ほか5総合病院が参加）当支部が訓練主導してMCA無線の訓練実施 ・2006年度スタートした地域定点診療拠点に対応する医療四師会との合同訓練中止。 ・昭和大学藤が丘病院訓練、青葉区民祭、防災フェスティバルなど区内の防災関連プログラムは全て中止。 ・青葉区の基幹周波数の変更を実施した。145.30MHzはデジタルの呼び出し周波数に指定され通常の交信に使えなくなったため、周辺周波数への移転を模索。各区基幹周波数に影響を与えないなど条件を満たした周波数を選定し、本部との協議の上で変更を実施した。（145.34, 438.34, 1295.34MHz）
14	都筑	27	3	3	19	<ul style="list-style-type: none"> ・27拠点のうち3拠点を通信訓練（情報受伝達訓練）を実施し、他は中止もしくは通信訓練中止となった。 ・27拠点のうち1拠点は青葉区と都筑区との共同拠点であるが、例年と異なり青葉区として通信訓練を実施した。（都筑区の参加はなし） ・区役所の防災関係会議（地域防災拠点運営委員会連絡協議会）は書面開催となった。 ・区役所予算で27拠点到配備している無線機の大多数は旧スプリアス規格のため更新を区役所に要望し、3年計画での更新をすることとなり、初年度分が納品された。 ・支部総会は書面開催とし、会員相互の交流の場としてオンラインによる懇親会を開催した。 ・会員募集チラシを新たに作成して訓練での配布、区役所総務課での配架などで広報活動を実施した。
15	戸塚	35	7	7	327	<ul style="list-style-type: none"> ・全35地域防災拠点中17拠点を拠点訓練が実施されたが、コロナ下での対応に特化した訓練に限定する拠点多い中、7拠点から通信訓練を要請されて、実施した。 ・メンバー局の設備確認と非常時通信の訓練を目的としたロールコールを毎月第1および第3日曜日に実施している。 ・2020年6月より、戸塚区で震度4以上の地震等が観測された場合に、発災時の初動通信の訓練を実施することとし、訓練マニュアルを整備した。2021年2月13日には、当日発生した地震にて、初回ながら13名が参加した。 ・例年、域防災拠点訓練に先立ち開催される地域防災拠点運営委員会総会は、コロナ対策のため今年は集会をやめ書類配布で代替された。当支部は配布用の解説ピラを作成し①地域防災拠点訓練での非常通信協力会の役割の解説、②地域内で緊急時に円滑な情報交換を可能にするライセンスフリー・トランシーバーが有用である等の情報提供を行った。

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2020年度支部活動報告（2021年5月23日総会用）

支部名	実施した通信訓練の概要				その他活動・報告事項など	
	地域防災拠点数(A)	(A)のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数(区役所局含む)		
16	栄	20	15	20	161	<ul style="list-style-type: none"> ・市内最大震度3以上の地震発生時に出勤態勢訓練を実施。1回につき30分程度、年度内7回、延べ参加局数53 ・通信訓練、無線設備点検、通信パス確認を兼ねた月例オンエアミーティングを12回実施。延べ参加局数95 ・3月：新規配備FT-991AS増設の変更申請を実施。4月13日付で審査終了。 ・5月：非常通信協力会本部総会。(メールにより実施) ・7月：栄区役所で「第一回支部非常通信討論会」開催。テーマは、「ウィルス感染症とその予防」と「発災時の非常通信出動体制について」。後者は大規模地震発生から一般通信回線の回復まで数日間の体制をフェーズゼロ(安全確保)、フェーズⅠ(常時連絡体制)、フェーズⅡ(毎時連絡体制)、フェーズⅢ(3時間定時連絡体制)の4ステージに分けて運用することを提案。討議を行った。参加人数16 ・8月：現行無線設備へのデジタルモード追加に関して変更届を提出。 ・9月：栄区内電波伝搬調査(実施)、市役所局/区役所局間電波伝搬実験(延期)。区役所局/15地域防災拠点間の通信パスを確認。結果は2拠点を除き極めて良好であった。当該2拠点はアンテナゲインの改善、リグのQR0などにより次年度再調査を実施する。参加局数13 ・9月：非常通信協力会協賛の横浜市役所新庁舎竣工記念特別局8N1Y/1を栄区内より運用。237局と交信。参加局4局 ・10月：「第二回支部非常通信討論会」開催。テーマは「新規配備無線機FT-991AS操作講習」と「デジタル日本語文字通信の実践」。後者は第一回討論会で提案があった、MMVARIを用いたデジタル日本語文字通信について、基礎から免許申請、ソフトウェアの設定までを解説。実機によるデモンストレーションも実施した。参加人数14 ・3月：COVID-19感染拡大防止の観点からメールによる支部年度総会を開催。参加人数26 ・8月・9月・11月・3月：支部長会(中止) ・栄区支部内の会員QTHロケーションマップを随時更新し会員及び区役所へ配布 ・広報活動として支部HPを継続的に運用。累積アクセス数22,000超 ・年度内新入会員数3、退会者数3、現支部会員総数31
17	泉	23	5	5	26	<ul style="list-style-type: none"> ・支部総会(書面による総会) ・泉区防災連絡協議会出席 ・泉区地域防災拠点運営委員会総会(書面による総会) ・8N1Y/1(市新市庁舎竣工記念特別局)運用(8/15) ・月例ロールコール実施(のべ243局) ・市内震度3以上の地震2回あり、通信訓練(8局)を行なった。 ・拠点、自治会などより、簡易デジタル無線機の取り扱い説明会の要望あり実施した。 ・防災訓練5か所実施され通信訓練参加した。
18	瀬谷	15	0	0	0	<p>コロナ対策のため、特に活動は行わなかった。</p>

この報告に関する問い合わせ先：支部長会担当・山岸 純